

分析ツールの使い方 (家計所得編)

1 A町の「一人当たり家計所得」のうち、県平均を上回っているものは何か？

- (1) 分析ツール（家計）ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数（実数）」シートの「調べたい市町村名：A」でA町を選択します。
- (3) 「特化係数（実数）」シートの「比べたい市町村名：B」で市町村計を選択します。
- (4) H18(2006)年度～H28(2016)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、その年度において県平均を上回っている所得といえます。

2 A町の所得構造の変化が知りたい場合（昔とどう違うの？）

- (1) 分析ツール（家計）ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数（構成比）」シートの「調べたい年度：A」でH28(2016)を選択します。
- (3) 「特化係数（構成比）」シートの「比べたい年度：B」でH18(2006)を選択します。
- (4) H18(2006)年度を1.0とするH28(2016)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、H18(2006)年度よりも構成比が大きくなった所得といえます。

3 A町の所得水準の変化が知りたい場合（昔とどう違うの？）

- (1) 分析ツール（家計）ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数（実数）」シートの「調べたい年度：A」でH28(2016)を選択します。
- (3) 「特化係数（実数）」シートの「比べたい年度：B」でH18(2006)を選択します。
- (4) H18(2006)年度を1.0とするH28(2016)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、H18(2006)年度よりも所得水準が高くなった所得といえます。

4 A町とB町の「一人当たり家計所得」水準を比べたい場合（どちらが、何が高いの？）

- (1) 分析ツール（家計）ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数（実数）」シートの「調べたい市町村：A」でA町を選択します。
- (3) 「特化係数（実数）」シートの「比べたい市町村：B」でB町を選択します。
- (4) H18(2006)年度～H28(2016)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、その年度においてA町がB町よりも所得水準が高いといえます。

5 A町とB町の所得構造を比べたい場合（どう違うの？）

- (1) 分析ツール（家計）ファイルを開きます。
- (2) 「特化係数（構成比）」シートの「調べたい市町村：A」でA町を選択します。
- (3) 「特化係数（構成比）」シートの「比べたい市町村：B」でB町を選択します。
- (4) H18(2006)年度～H28(2016)年度の特化係数の表とグラフが表示されます。
- (5) 特化係数が1.0より大きい所得が、その年度においてA町がB町よりも所得構成比が大きいといえます。

※ グラフの数値軸が細かくて見にくい場合（線が多すぎて見辛いんだけど？）

- (1) 「ツール」→「シート保護の解除」を選択し、左クリックします。
- (2) グラフの縦線にカーソルをあて「数値軸」と表示されたところで右クリックします。
- (3) 「軸の書式設定」を選択し、左クリックします。
- (4) 「目盛」タグを選択し、「最小値」「最大値」「目盛間隔」を最適の数値に修正します。
- (5) 「OK」を左クリックします。